

※今月のみ受注の書目です。

国際情勢 ご担当者さま

入門講義 安全保障論 第2版  平積み

(2023年11月中旬刊行予定)

宮岡勲(慶應義塾大学法学部教授)[著]

A5判並製 / 256頁 税込予価 2,750円 ISBN978-4-7664-2931-2 C3031

 ココに注目!

- これからの安全保障を考えるために——
- 2020年以降の日本を取り巻く国際情勢の変化を盛り込み、国際安全保障の主要理論を解説するベーシックなテキストの大幅改訂版。

教養課程から専門課程までを対象にしたコンパクトな概説書でありながら、わかりやすさを追究し、各理論の背景知識や事例分析を盛り込む。中国の台頭、ウクライナ情勢、日米関係の変化など、日本をとりまく国際環境が激変するなか、安全保障のベーシックな理論を知り、日本の将来像を描く基本の一冊。

 対象 政治学を学ぶ学生 / 国際情勢や安全保障に関心のある一般読者 類書 村田晃嗣ほか『国際政治学をつかむ』(有斐閣) **ご注文はFAXで! 03-3451-3124** 

番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		宮岡勲 著	2,750円	★★★ ★★★
		入門講義 安全保障論 第2版		
		ISBN978-4-7664-2931-2 C3031		

★1つで「500部」を表します

 **主要目次を裏面に掲載! ぜひご確認ください!**

【主要目次】

序章 安全保障とは何か

はじめに／Ⅰ 安全保障の概念／Ⅱ 学問領域としての安全保障論／
Ⅲ アメリカと日本の国家安全保障観

第1部 リアリズムから見た紛争と平和

第1章 国家間の権力闘争

はじめに／Ⅰ 分析のレベルと古典的リアリズム／Ⅱ 古典的リアリズムの勢力均衡理論／
Ⅲ 帝国主義とロシア

第2章 無政府状態と国家存立

はじめに／Ⅰ 国家間の主権と存立／Ⅱ ネオリアリズムの理論／Ⅲ 安全保障のジレンマ

第3章 覇権の盛衰

はじめに／Ⅰ 冷戦期からの国際構造の変化／Ⅱ リアリズムの覇権理論／Ⅲ 中国の台頭

第2部 リベラリズムから見た紛争と平和

第4章 民主的平和と普遍的価値

はじめに／Ⅰ 自由主義思想／Ⅱ 民主的平和論／Ⅲ 普遍的価値と日本の戦略

第5章 制度的平和と国際秩序

はじめに／Ⅰ 国際制度の理論／Ⅱ 国際秩序の理論／Ⅲ 制度的平和論

第6章 商業的平和と経済的繁栄

はじめに／Ⅰ 経済の思想と政策／Ⅱ 商業的平和論／Ⅲ 経済的繁栄と日本

第3部 防衛の戦略的アプローチ

第7章 自国の防衛体制

はじめに／Ⅰ 軍事力の二面性／Ⅱ 日本の安心供与／Ⅲ 日本の抑止と防衛

第8章 同盟の形成と管理

はじめに／Ⅰ 同盟の概念／Ⅱ 同盟の理論／Ⅲ 日米同盟

第9章 安全保障協力

はじめに／Ⅰ 国際協調と安全保障協力／Ⅱ 国連の平和活動／Ⅲ 日本の国際平和協力活動

第4部 現代の安全保障課題

第10章 核兵器の戦略と管理

はじめに／Ⅰ 核戦略をめぐる論争／Ⅱ アメリカの核戦略／Ⅲ 核兵器の軍備管理

第11章 グローバル化

はじめに／Ⅰ グローバル化とは何か／Ⅱ グローバル化と国内紛争／
Ⅲ グローバル化と国際テロ

第12章 グローバル・コモンズ

はじめに／Ⅰ 海洋・宇宙・サイバーの領域／Ⅱ 日本の領域別戦略／Ⅲ サイバー革命論
をめぐる論争

引用参考文献リスト／索引